

公益社団法人 小金井市シルバー人材センター 第5次中期計画書

目 次

第 1	基本方針	P 1
第 2	計画期間	P 3
第 3	達成目標	P 3
第 4	数値目標設定の考え方	P 5
第 5	重点施策	P 6
	1 収支均衡対策		
	2 会員増強対策		
	3 就業拡充対策		
	4 地域貢献拡充対策		

付 帯 資 料

- 1 東京都シルバー人材センター『就業率』『入会率』比較表
- 2 全国・東京都『会員数』『契約金額』の推移比較表

はじめに

第4次中期計画の見直し及び第5次中期計画策定

- (1) 駐輪場の相次ぐ統廃合・閉鎖等に伴い、契約金額が落ち込み、中期計画との大幅な乖離が生じたため、第4次中期計画の残存期間である平成27～28年度について見直しをすることとした。
- (2) 平成29年度から始まる第5次中期計画は、その1年前の平成28年度に策定するのがこれまでの通例であるが、今回、この平成27～28年度の見直しをする機会を活用して、これに続く第5次中期計画も同時に策定した方が良いとの理事会決議に基づき、第4次中期計画の平成27年度以降の見直しと、平成29年度から始まる第5次計画策定を、同時に実施することにしたものである。

第1 基本方針

1. シルバーを取り巻く環境変化への対応

- (1) 長年の間、市内全ての市営駐輪場の管理を受託してきたが、駅前再開発による市営駐輪場の統廃合、閉鎖並びに民間事業者の参入により当センターへの委託が大幅に減少する事態に直面している。この駐輪場の状況変化を主因とする公共部門の落ち込みを、民間部門でどれだけ埋め合わせできるかが、今後センターに問われている重要課題のひとつである。
- (2) 東京都シルバー人材センター連合（以下「連合」という）が、シルバー人材センター労働者派遣事業（以下「シルバー派遣事業」という）を平成27年度から実施（再開）したことに伴い、当センターも平成平成28年4月1日から届出により実施事業所となり、シルバー派遣事業の実施が可能となった。

しかしながら、シルバー人材センター事業の就業形態は、あくまでも請負、委任で実施することが基本であるため、業務の内容・形態上において請負、委任では適正就業に反するような仕事について、就業機会拡大の観点からシルバー派遣事業として取り扱うこととする。

2. 収支バランスの維持

過去5年間に3度（平成21・24・25年度）経常収支が赤字となった。今後、当センターとしては支出超過を脱し、赤字を出さない体質づくりが求められている。先行き、公共事

業の縮小や補助金削減の不安が拭えないが、経常収益がどう変動しても、これに見合った支出が出来れば組織の存続は可能であるので、収支相償の原則にしたがい収支バランスの継続を、シルバー運営の最優先課題に据え、安定した事業運営を構築していく。

3. “会員”・“就業”・“地域貢献”の3本柱拡充

(1) 会員数は、過去からの推移を見てみると、平成13年度に1,000名の大台に乗せ、翌平成14年度に1,100名台となって以来1,200名の大台を超えることが出来ていない。毎月10名前後の入会者があり、年間140名前後の入会者があるが、同程度の退会者が出るため、一進一退を繰り返してきているところである。

しかし、全国では過去4年間、東京都では過去3年間連続して会員数を減少している中で、当センターは幸い、増加傾向にある。更に平成25年度は入会率が3.8%と、都内10万人以上都市の中では、第1位を記録した。今後この入会率を維持できれば、1,200名の大台突破も可能である。

(2) 就業率は、ここ5年間、87~90%を維持しており、他のセンターと比較して、遜色はないが、契約金額については、平成27年度は悪徳商法防止キャンペーン事業の受託のため過去最高の5億1千万を超える契約金額となったものの、今後駐輪場の縮小に伴い公共部門が大きく落ち込んでいくことが見込まれるため、民間部門をいかに伸展させていくかが大きな課題となることから、一般家庭を中心に、民間部門からの受託に活路を見い出して、継続的に、就業拡大が実現するようセンターの総力を挙げて行く必要がある。

(3) 地域貢献事業は、各地域班による清掃ボランティア活動が6年目を迎え軌道に乗り、着実に参加人数も増加しており、シルバーの事業の一つとして、定着しつつある。

参加・協力頂いている会員の皆様には深く敬意を表する一方、ご理解とご協力を頂けない会員にも、地域貢献の重要性と意義を粘り強く説明し、地域貢献は、公益社団法人として必要不可欠の事業として、あくまで、“全員参加”を究極の目標とし、すでに取り組んでいるボランティア活動やサービス活動への参加者の増加・拡大と併せて、新しい分野での地域貢献やサービス活動内容の一層の充実・拡大も、これからのセンターの課題として取り組んでいく必要がある。

4. むすび

シルバー人材センターは、人が“宝”であり、人材が唯一の“財産”である。会員全員がおのおの持っている、“人材としての価値”を最大限発揮して頂き、健康で幸せな生活

を送れる“居場所”にすると同時に、“生涯現役”を目指す就業や地域貢献・市民サービス等、生き活きた活動を通して、“地域社会への奉仕”と、行政から大きな期待が寄せられている“地域の活性化”に貢献していく必要がある。

そのため、会員全員が、“自主自立”の精神を持って、お互い“自立した人”として尊重し合い、“共働共助”の精神を持って、助け合い、支え合う、“暖かい人間集団”を目指し、第5次中期計画は、我がシルバー人材センターが、この大きな使命と高い理念の実現に向かって進む、“道標（みちしるべ）”として、計画達成の為、会員各位、関係者の皆様のご尽力とご支援を切にお願いするものである。

※本計画書では、シルバーを取り巻く環境変化に伴う重要課題等を遂行するため、課題項目毎に数値目標を設定し、これを達成するための重点施策を掲げ、更に、施策項目毎に、具体的な対策を講じるものである。

第 2 計 画 期 間

平成 29 年度から平成 33 年度までの 5 年間とする。

第 3 達 成 目 標

<会員数／入会率／男女比>

年 度	会 員 数 (人)			入 会 率 (%)		
	男性	女性	合 計	男性	女性	合 計
H29	701	486	1,187	5.0	3.0	3.8
H30	714	491	1,205	5.0	3.0	3.8
H31	726	496	1,222	5.0	3.0	3.8
H32	738	500	1,238	5.0	3.0	3.8
H33	750	500	1,250	5.0	3.0	3.8

(参考)

年 度	市 60 歳以上人口推計(人)		
	男 性	女 性	合 計
H29	14,023	17,358	31,381
H30	14,287	17,531	31,818
H31	14,511	17,704	32,215
H32	14,755	17,877	32,632
H33	15,000	18,050	33,050

<就業率>

年 度	月 間 就 業 率			年 間 就 業 率		
	会員数	就 業 実人員	就業率%	会員数	就 業 実人員	就業率%
H29	1,187	831	70.0	1,187	1,068	90.0
H30	1,205	844	70.0	1,205	1,085	90.0
H31	1,222	855	70.0	1,222	1,112	91.0
H32	1,238	867	70.0	1,238	1,127	91.0
H33	1,250	875	70.0	1,250	1,150	92.0

<契約金額>

年 度	契 約 金 額 (千円) / 公 民 比 (%)				
	公 共	比率 %	民 間	比率 %	合 計
H29	205,000	44	265,000	56	470,000
H30	205,000	43	275,000	57	480,000
H31	205,000	42	285,000	58	490,000
H32	205,000	41	295,000	59	500,000
H33	205,000	40	305,000	60	510,000

第 4 数値目標設定の考え方

1 収支バランスについて

“収支バランス”は過去の中期目標にはなかったが、今回第5次で初めて目標として掲げた。その理由は、次のとおりである。

- ① 過去5年間で3度（平成21、24、25年度）、経常収支の赤字を記録しており、赤字を出さない事業運営を目指す。
- ② 公共事業の縮小や補助金の削減等不安要素があるが、事業規模がどう変わっても、これに見合った支出ができる体質をつくることにより、組織維持体制を整える。
- ③ “収支バランス”を第一の目標に掲げることで、会員全員の財務への理解と関心を高める。

2 会員数目標について

- ① 入会者は、現状水準を維持すると共に、退会者を減らすことに注力し、毎年10数名の純増を図ることとし、全体では、1,200名の大台を超える1,250名（男性750名、女性500名）を目標とした。
- ② 平成27年度に東京都内人口10万以上の市・区で、入会率において、当センターが首位を記録したが、この入会率3.8%を維持することを目標とした。
- ③ 第4次中期計画に引き続き、女性会員の増強に重点を置いた。女性の入会率は、現状2.8%であるが、これを3.0%に引き上げ、最終年度には、500名の大台達成を目指す。また、会員総数に占める女性の比率を、過去5年間の平均値39%から40%に引き上げる。

3 就業率目標について

- ① 年間就業率は、人口10万人以上の市・区で見ると平成27年度の実績が89.5%で東京都では第3位であったが、第1位の多摩市SCの94.3%は例外として、第2位の昭島市SCが91.3%なので、当センターは92%を目標値として、入会率と共に、都内第1位を目標とした。
- ② 月間就業率は、第4次中期計画と同様、70%を数値目標とした。

4 契約金額について

- ① 契約金額は、5億円の大台を突破することを目標とし、510,000千円とした。

- ② 公共部門の伸びが期待できないので、現状の 245,000 千円を 205,000 千円とした。
- ③ 民間部門は、現状の 228,800 千円から毎年 4%弱（毎年 10,000 千円）の伸びを見込み、8 年後の最終年度には、305,000 千円を目標とした。
- ④ 結果として、民間部門の比重を高め、最終年度の公民比は、公共 40%：民間 60% を目標とした。

第 5 重点施策

1 収支均衡対策

- (1) 全ての経費を見直し、費用対効果も考慮に入れ、不要・不急の経費の削減を継続実施する。
- (2) 受注への影響を考慮したうえで、事務比率の見直しを行う。
- (3) センター全体の収支均衡を達成する前提として、各職班において収支バランスを考慮する。
- (4) 各月の月次決算時において、収支のバランス状況をチェックし、年度決算において、適正な収支相償の状況となるようにする。

2 会員増強対策

- (1) 市民向け広報誌「いきいき小金井」またはPRチラシ及びホームページの充実により、当センターの魅力が充分市民に伝わるよう、工夫・改善し、高齢者の生きがいと就業を提供する組織であることをPRし、入会の促進を図る。また、会員募集の為に臨時号を発行し、必要に応じて特定職班に限定した募集企画の特集を検討する。
- (2) 会員勧誘の方法として、単に“新入会員募集”だけではなく、具体的な業務内容や仕事の種類を提示して、その業務や仕事を希望する高齢者を募集する方法等を検討する。
- (3) 未就業者の退会を防止する為、入会後の就業状況を把握する。
まず、入会后 3 ヶ月経過した時点で、未就業者ひとり一人と連絡を取り、各自の現況や希望等を、ヒアリング等により把握し、個別の対応策を講じ、就業を促進する。

- (4) 未就業会員に就業して貰うよう配慮を行い、就業率の向上、並びに、未就業による退会を防止する。各地域班においても、就業促進対策や地域班内の未就業者を無くし、退会防止を支援する。

3 就業拡充対策

- (1) 営業活動を専門に行う「就業創出員」の配置を検討するとともに、会員増強と合わせて就業開拓の方法を検討する。
- (2) 顧客への作業後の満足度調査などを行ったうえで、更なる発注の依頼や新規顧客の紹介を得られるよう、事務局及び職班会員との情報交換を密に行う。
- (3) 全会員の就業拡大への協力と動機づけを促進するため、現行「就業開拓活動推進要綱」（成果配分金制度）の見直しと併せて、就業開拓を含む「功労表彰制度」の制定を検討し、少しでも就業開拓に貢献した会員を公表し、定時総会で表彰するなど、検討する。
- (4) 具体的な新規事業として、下記を検討する。
 - ①民間チラシの配布業務を受託する。
 - ②会員から、学習・文化・教養・趣味等の講師を募り、一般市民向け各種教室事業を開講する。
 - ③会員の中で、特殊な資格や技能・技術・経験を有する者を抽出し、新しい分野の仕事をPRし、発注者を発掘する。

4 地域貢献拡充対策

- (1) 入会説明会・入会式・地域班集会等各種会合や、新任地区委員・職班長等研修会で、シルバーが公益社団法人として存続するためには、地域貢献活動が必要不可欠の重要な事業であること、並びに、日頃シルバーへ仕事を発注して頂いている市や市民の皆様への感謝の気持ちを形に表し、ボランティア活動への積極的・自主的な参加を促す。
- (2) 地域貢献と市民サービスを主題とした、地域班長や職班長の連絡会を開催し、お互いの経験や情報交換を行い、参加者を増やす工夫や新しい貢献分野への展開の知恵を出し合い、センター全体として、地域貢献活動及び市民サービス活動の拡大・充実を図る。
- (3) 当センターの地域貢献活動を市当局者や市民により効果的にアピールできるよう、時間、場所を考慮し、服装を統一するなど工夫する。

(4) 会員の参加率を向上するための動機づけや励みとなる、次の様な工夫を検討する。

- ①参加記念品(バッジ、特色あるタオル・ハンカチ、ボールペン等)を参加者に支給する。
- ②ポイント制または参加回数により、個人別貢献度を数値化し、就業者選考の際、評価ポイントの一つとすることを、公表し、実施する。

以 上

平成27年度 東京都10万人以上人口の区・市シルバー人材センター 就業率・入会率比較表

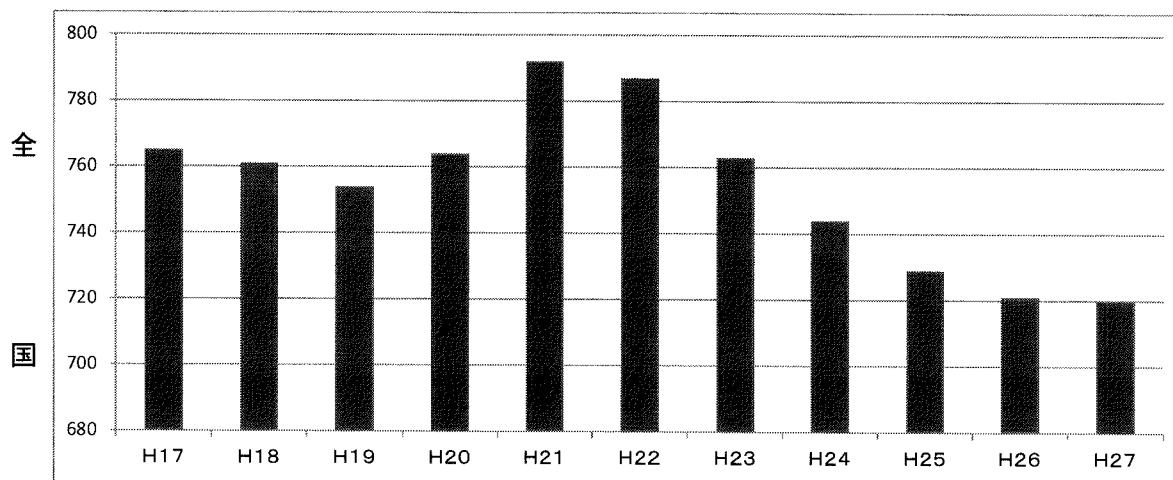
(凡例)

薄い網掛け : 就業率のランキングが、上位5位までに入っているSCを示す。

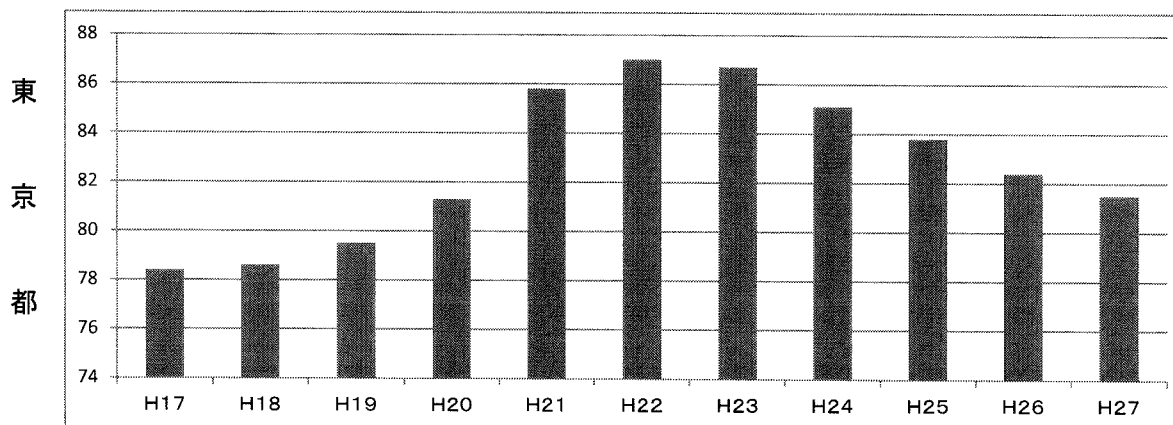
濃い網掛け : 入会率のランキングが、上位5位までに入っているSCを示す。

センター名称	会 員 数				就業実人員 (請負・委任)	就業率		公 民 比		人 口	内60歳以上	高齢化率 60歳以上 比率(%)	入会率	
	男性	女性	女性比率 (%)	合計		(%)	ランク	公共	民間				(%)	ランク
中央区	299	301	50.2	600	483	80.5		56.6	43.4	139,291	28,621	20.5	2.1	
港区	770	795	50.8	1,565	1,199	76.6		44.9	55.1	245,579	53,259	21.7	2.9	⑥
新宿区	1,056	703	40.0	1,759	1,272	72.3		42.0	58.0	335,510	82,302	24.5	2.1	
文京区	577	439	43.2	1,016	814	80.1		43.4	56.6	211,451	52,303	24.7	1.9	
台東区	585	377	39.2	962	588	61.1		69.3	30.7	191,584	56,122	29.3	1.7	
墨田区	1,113	649	36.8	1,762	1,368	77.6		55.5	44.5	263,456	74,264	28.2	2.4	
江東区	1,847	1,022	35.6	2,869	2,267	79.0		51.5	48.5	501,501	134,213	26.8	2.1	
品川区(2SC計)	1,453	1,060	42.2	2,513	2,122	84.4	⑩	33.2	66.8	380,293	99,226	26.1	2.5	
目黒区	788	508	39.2	1,296	1,028	79.3		33.5	66.5	272,478	63,723	23.4	2.0	
大田区	1,774	1,022	36.6	2,796	1,948	69.7		55.6	44.4	715,156	200,105	28.0	1.4	
世田谷区(2SC計)	2,105	934	30.7	3,039	2,385	78.5		52.8	47.2	867,383	219,111	25.3	1.4	
渋谷区	659	554	45.7	1,213	1,024	84.4	⑩	51.5	48.5	221,311	52,474	23.7	2.3	
中野区	950	568	37.4	1,518	1,295	85.3	⑥	39.3	60.7	323,688	82,598	25.5	1.8	
杉並区	1,700	1,080	38.8	2,780	1,995	71.8		61.6	38.4	555,897	144,503	26.0	1.9	
豊島区	904	502	35.7	1,406	1,209	86.0	④	50.0	50.0	281,540	71,058	25.2	2.0	
北区	1,418	855	37.6	2,273	1,789	78.7		59.7	40.3	341,252	106,479	31.2	2.1	
荒川区	1,044	602	36.6	1,646	1,315	79.9		61.9	38.1	211,808	61,110	28.9	2.7	⑦
板橋区	1,950	1,055	35.1	3,005	2,468	82.1		58.2	41.8	553,257	156,686	28.3	1.9	
練馬区	2,423	1,231	33.7	3,654	2,615	71.6		40.1	59.9	720,915	191,749	26.6	1.9	
足立区	2,383	1,204	33.6	3,587	2,833	79.0		48.1	51.9	680,109	203,892	30.0	1.8	
葛飾区	2,101	770	26.8	2,871	2,192	76.3		68.9	31.1	453,734	136,499	30.1	2.1	
江戸川区	2,881	1,124	28.1	4,005	2,423	60.5		10.1	89.9	686,387	175,798	25.6	2.3	
八王子市	1,845	521	22.0	2,366	1,952	82.5		40.6	59.4	562,019	175,797	31.3	1.3	
立川市	1,184	454	27.7	1,638	1,210	73.9		69.3	30.7	180,486	52,486	29.1	3.1	④
武蔵野市	694	476	40.7	1,170	945	80.8		41.1	58.9	143,630	38,710	27.0	3.0	③
三鷹市	978	619	38.8	1,597	1,260	78.9		20.7	79.3	183,951	48,554	26.4	3.3	③
青梅市	975	255	20.7	1,230	890	72.4		67.9	32.1	136,545	46,941	34.4	2.6	
府中市	1,214	491	28.8	1,705	1,442	84.6	⑨	53.4	46.6	257,318	67,203	26.1	2.5	
昭島市	780	287	26.9	1,067	974	91.3	②	61.4	38.6	112,906	35,087	31.1	3.0	⑤
調布市	986	526	34.8	1,512	1,198	79.2		43.4	56.6	227,208	59,859	26.3	2.5	
町田市	2,084	825	28.4	2,909	2,496	85.8	⑤	42.2	57.8	427,180	133,405	31.2	2.2	
小金井市	690	473	40.7	1,163	1,041	89.5	③	51.4	48.6	118,346	30,856	26.1	3.8	①
小平市	753	351	31.8	1,104	940	85.1	⑦	51.9	48.1	188,576	52,842	28.0	2.1	
日野市	1,128	407	26.5	1,535	1,083	70.6		31.0	69.0	180,975	53,004	29.3	2.9	⑤
東村山市	912	366	28.6	1,278	1,009	79.0		56.4	43.6	150,790	47,479	31.5	2.7	⑦
国分寺市	527	217	29.2	744	617	82.9		57.5	42.5	120,333	30,993	25.8	2.4	
東久留米市	769	596	43.7	1,365	1,126	82.5		28.4	71.6	117,053	38,390	32.8	3.6	②
多摩市	656	199	23.3	855	806	94.3	①	48.3	51.7	148,155	48,594	32.8	1.8	
西東京市	793	402	33.6	1,195	1,017	85.1	⑦	59.7	40.3	195,713	57,342	29.3	2.1	
人口10万人以上 41SC	47,748	24,820	34.2	72,568	56,638	78.0		46.6	53.4	12,604,764	3,463,637	27.5	2.1	
人口10万人以下 19SC	5,901	3,107	34.5	9,008	7,655	85.0		57.3	42.7	812,906	248,944	30.6	3.6	
東京都 60SC 総合計	53,649	27,927	34.2	81,576	64,293	78.8		49.1	50.9	13,417,670	3,712,581	27.7	2.2	
小金井市	690	473	40.7	1,163	1,041	89.5	③	51.4	48.6	118,346	30,856	26.1	3.8	①
昭島市	780	287	26.9	1,067	974	91.3	②	61.4	38.6	112,906	35,087	31.1	3.0	⑤
↑ 上記2つのSCは就業率と粗入会率のランキングが、二つとも上位10位以内に入っている。														
多摩市	656	199	23.3	855	806	94.3	①	48.3	51.7	148,155	48,594	32.8	1.8	
豊島区	904	502	35.7	1,406	1,209	86.0	④	50.0	50.0	281,540	71,058	25.2	2.0	
町田市	2,084	825	28.4	2,909	2,496	85.8	⑤	42.2	57.8	427,180	133,405	31.2	2.2	
中野区	950	568	37.4	1,518	1,295	85.3	⑥	39.3	60.7	323,688	82,598	25.5	1.8	
小平市	753	351	31.8	1,104	940	85.1	⑦	51.9	48.1	188,576	52,842	28.0	2.1	
西東京市	793	402	33.6	1,195	1,017	85.1	⑦	59.7	40.3	195,713	57,342	29.3	2.1	
府中市	1,214	491	28.8	1,705	1,442	84.6	⑨	53.4	46.6	257,318	67,203	26.1	2.5	
品川区(2SC計)	1,453	1,060	42.2	2,513	2,122	84.4	⑩	33.2	66.8	380,293	99,226	26.1	2.5	
渋谷区	659	554	45.7	1,213	1,024	84.4	⑩	51.5	48.5	221,311	52,474	23.7	2.3	
東久留米市	769	596	43.7	1,365	1,126	82.5		28.4	71.6	117,053	38,390	32.8	3.6	②
三鷹市	978	619	38.8	1,597	1,260	78.9		20.7	79.3	183,951	48,554	26.4	3.3	③
立川市	1,184	454	27.7	1,638	1,210	73.9		69.3	30.7	180,486	52,486	29.1	3.1	④
武蔵野市	694	476	40.7	1,170	945	80.8		41.1	58.9	143,630	38,710	27.0	3.0	⑤
港区	770	795	50.8	1,565	1,199	76.6		44.9	55.1	245,579	53,259	21.7	2.9	⑥
日野市	1,128	407	26.5	1,535	1,083	70.6		31.0	69.0	180,975	53,004	29.3	2.9	⑥
荒川区	1,044	602	36.6	1,646	1,315	79.9		61.9	38.1	211,808	61,110	28.9	2.7	⑦
東村山市	912	366	28.6	1,278	1,009	79.0		56.4	43.6	150,790	47,479	31.5	2.7	⑦

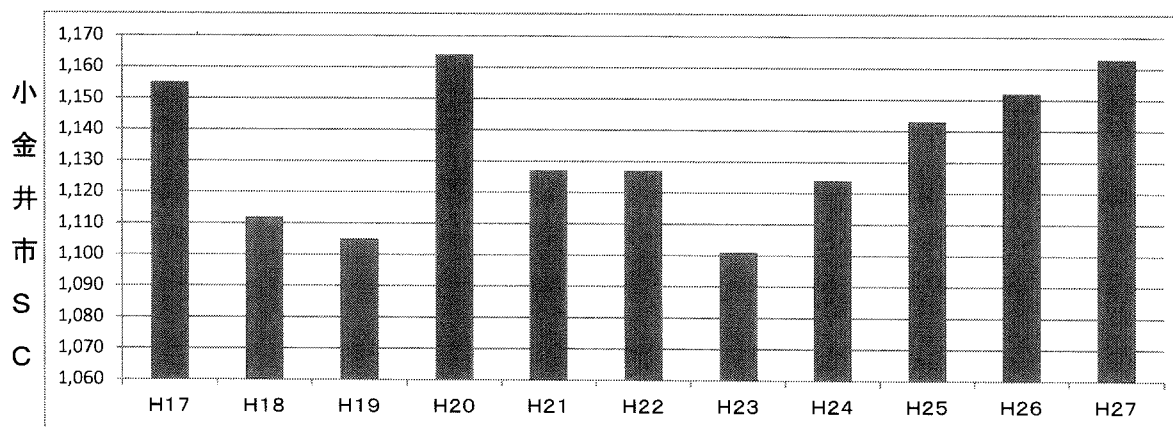
シルバー『会員数』の推移(全国・東京都・小金井市SC)



(千人)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
会員数	765	761	754	764	792	787	763	744	729	721	720

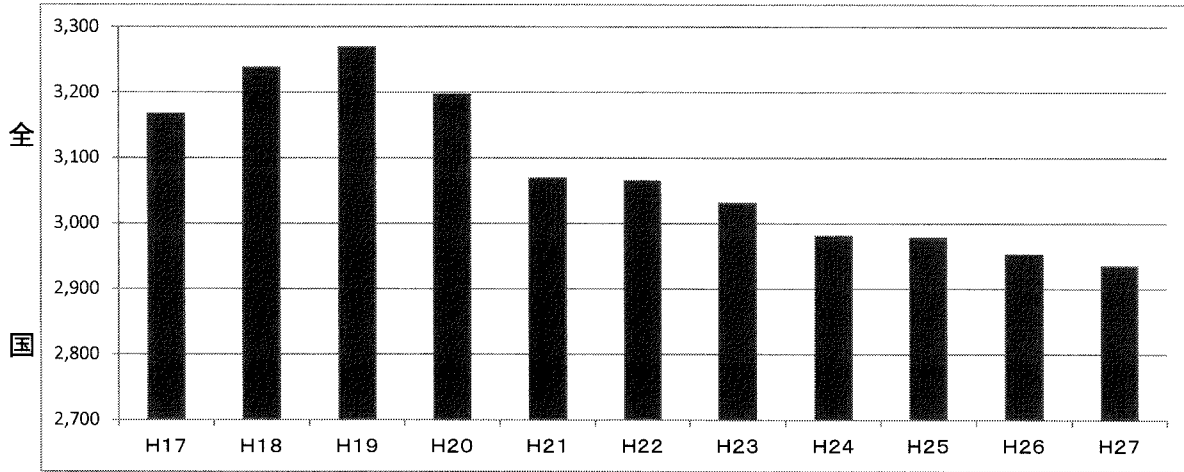


(千人)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
会員数	78.4	78.6	79.5	81.3	85.8	87	86.7	85.1	83.8	82.4	81.5

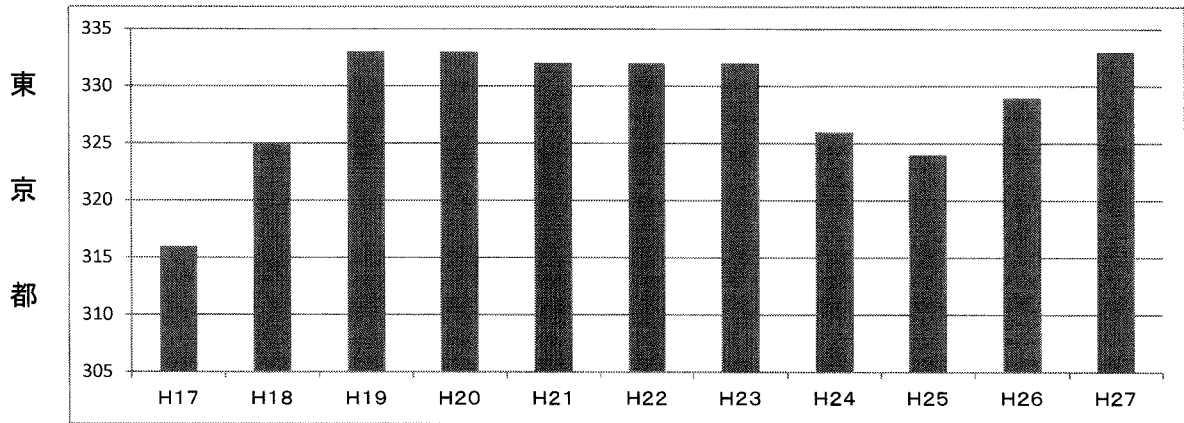


(人)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
会員数	1,155	1,112	1,105	1,164	1,127	1,127	1,101	1,124	1,143	1,152	1,163

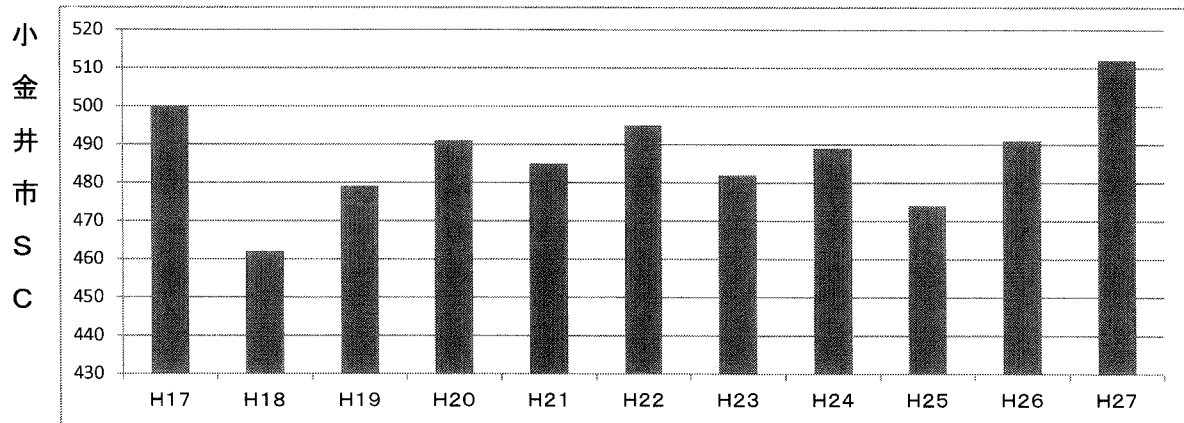
シルバー『契約金額』の推移(全国・東京都・小金井市SC)



(億円)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
契約金額	3,168	3,239	3,270	3,198	3,070	3,066	3,032	2,982	2,979	2,954	2,936



(億円)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
契約金額	316	325	333	333	332	332	332	326	324	329	333



(百万円)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
契約金額	500	462	479	491	485	495	482	489	474	491	512